

映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」

山梨上映実行委員会ニュース12号 2023.12.20

連絡先(実行委員長・矢崎勉)・電話090-7230-2133 ~  ~

各地で連帯上映に取り組もう！

ー3月末からの2週間で200人の鑑賞をめざすー

実行委員会では、今後、市川三郷や身延ばかりでなく、峡南各地、中央市や昭和町や他の地域でも連帯上映をし、3月末からの2週間、隙間なく上映し合計200名の映画鑑賞者をめざします。また、各団体での上映もめざして、県内の女性団体、医療団体、青年団体、商工団体、学校関係団体へ働きかけていきます。

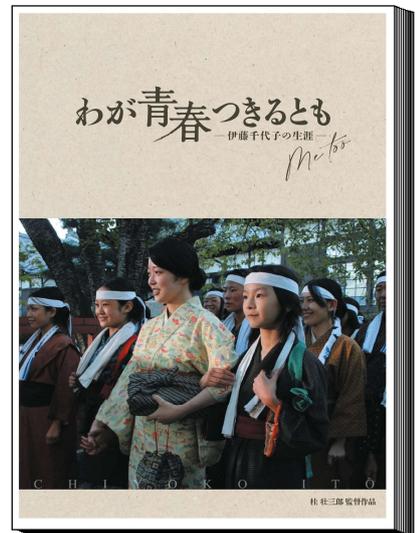
☆映画の感動をいつまでも

「わが青春つきるとも」第3次上映運動

市川三郷町、身延町で実行委員会結成準備

戸田康

「わが青春つきるとも・伊藤千代子の生涯」の県内での上映運動は、2022年5月の文学館での上映を皮切りに、9カ所でのべ14回の上映会が開かれ、これまで1177人が鑑賞してきました。人口比では長野に続いて全国2位となっています。県実行委委員会は全国ではじまった第3次上映運動に連帯して、峡南地域での上映を実現したいと、7月以来4回の打ち合わせ会（峡南地区実行委員会）を開き検討してきました。この中で2回の学習会も行い、「今なぜ千代子の上映運動か」学んできました。この中で、市川三郷町、身延町で3月31日～4月14日の期間に上映会を実施することを決めました。この期間DVDを使って、小規模上映会も含め何カ所でも上映できる事になりますので、峡南の他地域、県内での職場、団体、地域で上映会を開くことができますのでご検討ください。



700円で
上映会場で好評発売中！

「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」映画界への私の思い 一瀬 正

私は、終戦の1年目の昭和19年7月1日生まれで79歳です。私の両親は横須賀に住んでいましたが、母は私を出産するために市川大門の実家、今私が住んでいる家へ帰っていました。そんな時、ニューギニアへ出兵していた母の弟が戦死した報が入り、私を出産後も母は両親を心配し、そのまま実家に留まっていた。戦後しばらくしてから、父がトラック島の戦場から帰国し、母と連絡を取ろうとしたが、連絡がとれず、父は姉のところへ行き、私たちが生きていることを知り、私たちのもとへ来てくれました。父は私には戦場のことは何にも語ってくれませんでした。母から父の戦場での悲惨な思い出を後日聞きました。生きられなくなった戦友が、食べ物が何にもない中で、父に、俺の肉を食って、頑張って生きて帰れと言って亡くなられたという話でした。伊藤千代子さんは命がけで戦争に反対し、平和を願い闘われた方です。その思いを若者はもちろん、多くの人々に知っていただきたいです。今、私たちの国の岸田政権は、アメリカの指揮のもとで、戦争をする国へと突き進んでいます。物価高騰で苦しんでいる国民への暮らしには目も向けず、軍事費の莫大な予算計上へとつき進んでいます。伊藤千代子さんの命がけのたたかひの姿を見れる映画は、今、若い人たちに見ていただきたいです。市川三郷町では、今、上映計画を進めています。4月6日（土）か7日（日）の上映会を検討中です。がんばりたいです。